

ひとが輝き みんなでつくる
安心と活力のまち はむら



平成26年度 羽村市の予算
わかりやすい最初的一步！



平成26年3月

羽村市

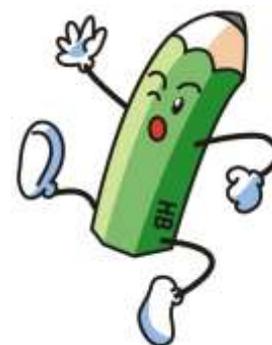
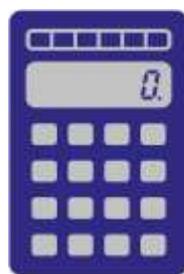


羽村市公式キャラクター「はむりん」

目次

Contents

予算って何？	1
市の収入	3
市税の状況	5
市の支出	7
市債の状況	9
基金の状況	11
市の財政状況	14



予算って何？



ここは羽村市のとある家庭・・・夕食後の食卓をのぞいてみると・・・
あれ？太郎くんが何やら難しい顔をしています。



： ねえ、お母さん、今度学校で僕たちの住んでいる羽村市の予算について勉強することになったんだ。

でも、なんだか市の予算ってとっても難しいし、興味もわかないんだよね・・・



： あら、自分たちの住んでいる市のことについて勉強することは、とっても大切なことよ。私たちが納めている税金がどのように使われているのか知ることって、私たちが地域の主人公として地域づくりに参加する一つの手段でもあるわけだし。なんてたって、市や町が倒産することだってあるんだから。



： 市が倒産だって？お母さん、オーバーだなあ。そんなことあるわけないよ。自治体は会社じゃないんだし・・・必要なお金は税金でまかなってるでしょ。



： いいえ、全国的に見ても、それぞれ自治体の財政は厳しい状況にあるのよ。少子高齢社会が進んで、福祉や医療などの社会保障の経費が増えているし、市の借金だって、ばかにならないのよ・・・。



： へえ、市が借金だって。何だか我が家のことみたいだね。



： そうよ、市の予算だって、家の家計みたいなもんよ。そういう見方をすると市の予算だって分かりやすいわよ。平成26年度の市の予算について、家計に例えて見てみましょうよ。



： う～ん・・・でも、そもそも市の予算って何なんだろう・・・？



予算とは…

自治体が、様々な事業をするために必要な収入と支払い(支出)を見積もり、一覧表にして市民の皆さんが納める税金や国・東京都からの補助金などがどう使われるのか、どのように市民にサービスとして戻されるのかを示したものです。予算は市民の代表である議会の議決によって出来上がり、市民の皆さんにお知らせすることが義務づけられています。

－ 平成 26 年度 羽村市の予算額 －

区 分	金 額
一 般 会 計	208億 8,000 万円
特別会計等	132億 5,606 万円
合 計	341 億 3,606 万円

*特別会計等には、水道事業会計を含みます。



一般会計とは…

予算は一つの大きな見積表に「収入」と「支出」を載せてやり繰りするのが原則ですが、家計において家族が別々にお財布を持つように、地方自治体のやり繰りを行う別個の財布があり、これを「会計」と言います。

一般会計：地方公共団体の基本的な経費をやり繰りする予算です。

市の根幹となるお財布です。

特別会計：特定の事業を行う場合、そこから発生する特定の収入を、支出に充てて独立してやり繰りをするお財布です。一般会計のお財布から必要なお金のやり取りがあります。

市では、こうしたお財布(特別会計等)が6つあります。

－ 特別会計等の予算額 －

区 分	金 額
国民健康保険事業会計	64 億 2,250 万円
後期高齢者医療会計	9 億 3,270 万円
介護保険事業会計	28 億 1,250 万円
羽村駅西口土地区画整理事業会計	3 億 1,930 万円
下水道事業会計	12 億 5,030 万円
水道事業(公営企業)会計	15 億 1,876 万円



: 一般会計で208億8,000万円って、我が家の家計の何倍かしら…
え〜っと…え〜っと…え〜っと…



: お母さん、しっかりして!! でも額が大きすぎてピンとこないよ。
もっと身近な数字で考えないと…



一般会計を市民一人あたりに換算すると…

一般会計の予算額を、平成26年1月1日現在の人口で割ると、**36万7,366円**になります。
(人口:5万6,837人 住民基本台帳人口)

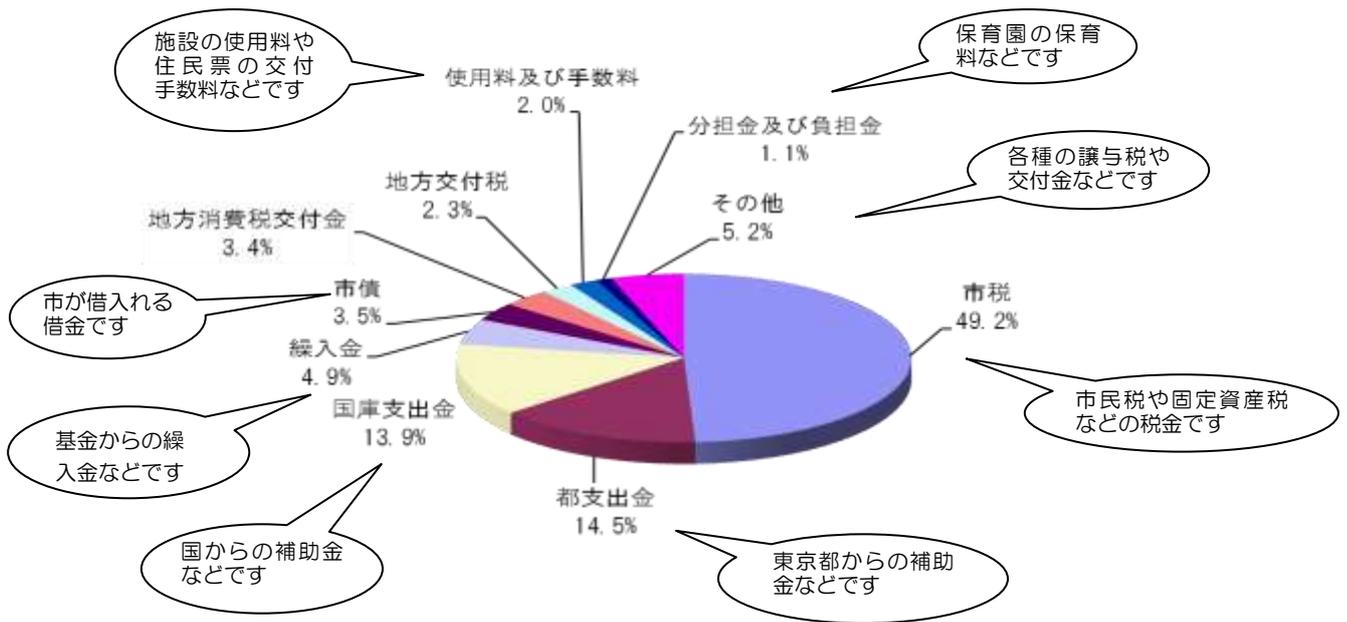


: ふ〜ん…1人あたり36万円かぁ。何となく身近な数字になってきたぞ。一ヶ月の家計位かな。どんなことにお金がかかって、どんなお金が入ってくるのかなぁ。

市の収入

市の収入の内訳は、次の表・グラフのとおりです。

区 分	予 算 額
市税	102億7,701万円
都支出金	30億3,686万円
国庫支出金	29億703万円
繰入金	10億2,913万円
市債	7億3,800万円
地方消費税交付金	7億1,300万円
地方交付税	4億8,000万円
使用料及び手数料	4億1,869万円
分担金及び負担金	2億2,017万円
その他	10億6,011万円
合計	208億8,000万円



！ 市民一人あたりの収入の状況は・・・

一般会計における市民一人あたりの収入の状況は、次のとおりです。



(平成 26 年 1 月 1 日現在の人口:5 万 6,837 人)



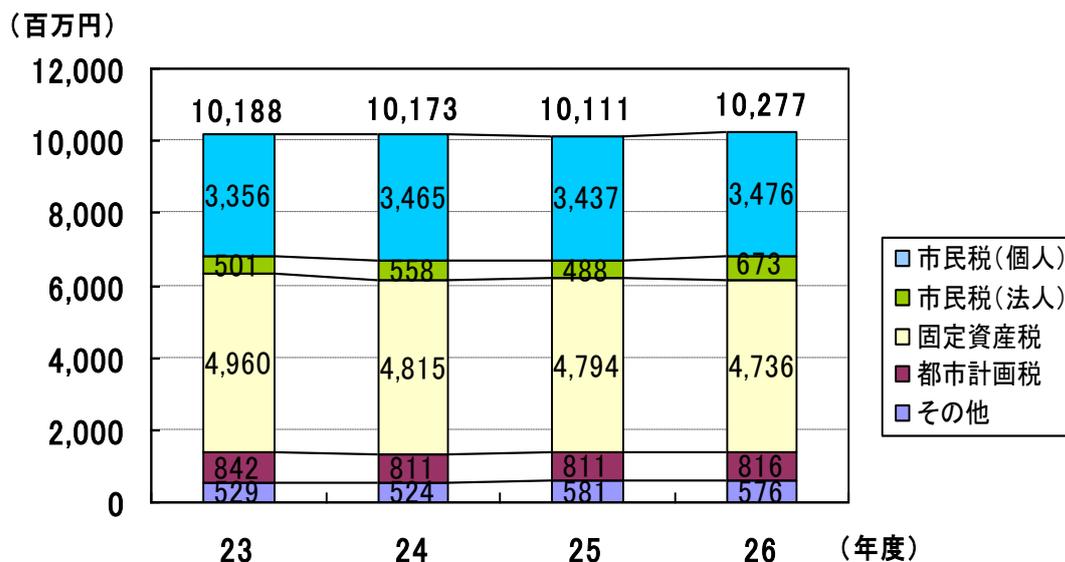
： そうか・・・やっぱり市の予算に占める税金の割合って大きいんだね。それじゃ税金の内訳はどうなっているんだろう。会社やお店が納める税金もあるし。市の収入に欠かせない税金は、ここ数年はどんな状況なんだろう。

市税の状況

市税収入の内訳は、次の表・グラフのとおりです。

区 分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
市 税 全 体	101億8,797万円	101億7,298万円	101億1,062万円	102億7,701万円	
税 目 別 内 訳	市民税（個人）	33億5,616万円	34億6,463万円	34億3,675万円	34億7,576万円
	市民税（法人）	5億 117万円	5億5,851万円	4億8,803万円	6億7,260万円
	固定資産税	49億6,000万円	48億1,454万円	47億9,379万円	47億3,648万円
	都市計画税	8億4,218万円	8億1,061万円	8億1,133万円	8億1,630万円
	市たばこ税	4億6,699万円	4億6,126万円	5億1,882万円	5億1,220万円
	軽自動車税	6,147万円	6,343万円	6,190万円	6,367万円

※23・24年度は決算額、25・26年度は当初予算額です。



： えー…市民が納めている税金の収入って、結構大きいんだなあ。
でも、税金は国や東京都にも納めているんじゃないのかなあ……。





平成 26 年度の市税の状況

平成 26 年度の市税収入の内訳を見てみると、前年度予算比で増加する主な税目は、市民税（個人分）、市民税（法人分）、都市計画税、軽自動車税で、反対に前年度予算比で減少する税目は、固定資産税、市たばこ税です。

市民税（個人分）は、平成 26 年度から 10 年間適用となる震災復興特別税に係る均等割額の 500 円上乗せ分による影響などにより、前年度比で 3,901 万円の増加を見込んでいます。

市民税（法人分）は、市内企業上位 50 社へのアンケート調査結果により、一部大手企業の業績改善を見込み、前年度比 1 億 8,457 万円の増加となりました。

一方で固定資産税は、税制改正による影響や新築家屋の増加などにより、土地・家屋分が増加となるものの、市内企業における新規の設備投資が少なく、既存設備の減価償却が進むことなどから、固定資産税全体では、5,730 万円の減収を見込んでいます。

平成 26 年度の全ての税目を合わせた市税全体では、前年度比で 1 億 6,639 万円の増加となります。



税源移譲

地方自治体が、今まで以上に自主性を発揮して市民により身近な行政サービスを行うために、平成 19 年度からは、市民の皆さんが国に納めていた税金（所得税）の一部が地方自治体に住民税として納められるように移し替えられました。これを税源移譲と言います。市民の皆さんが納める税金の額には変わりがないように制度が作られています。

ただし、税金による市の収入が増えている分、国からの補助金などは減っています。「地方のことは地方で」。市民の皆さんや地域の実情に一層合った行政サービスが行えるように仕組みが変わってきています。



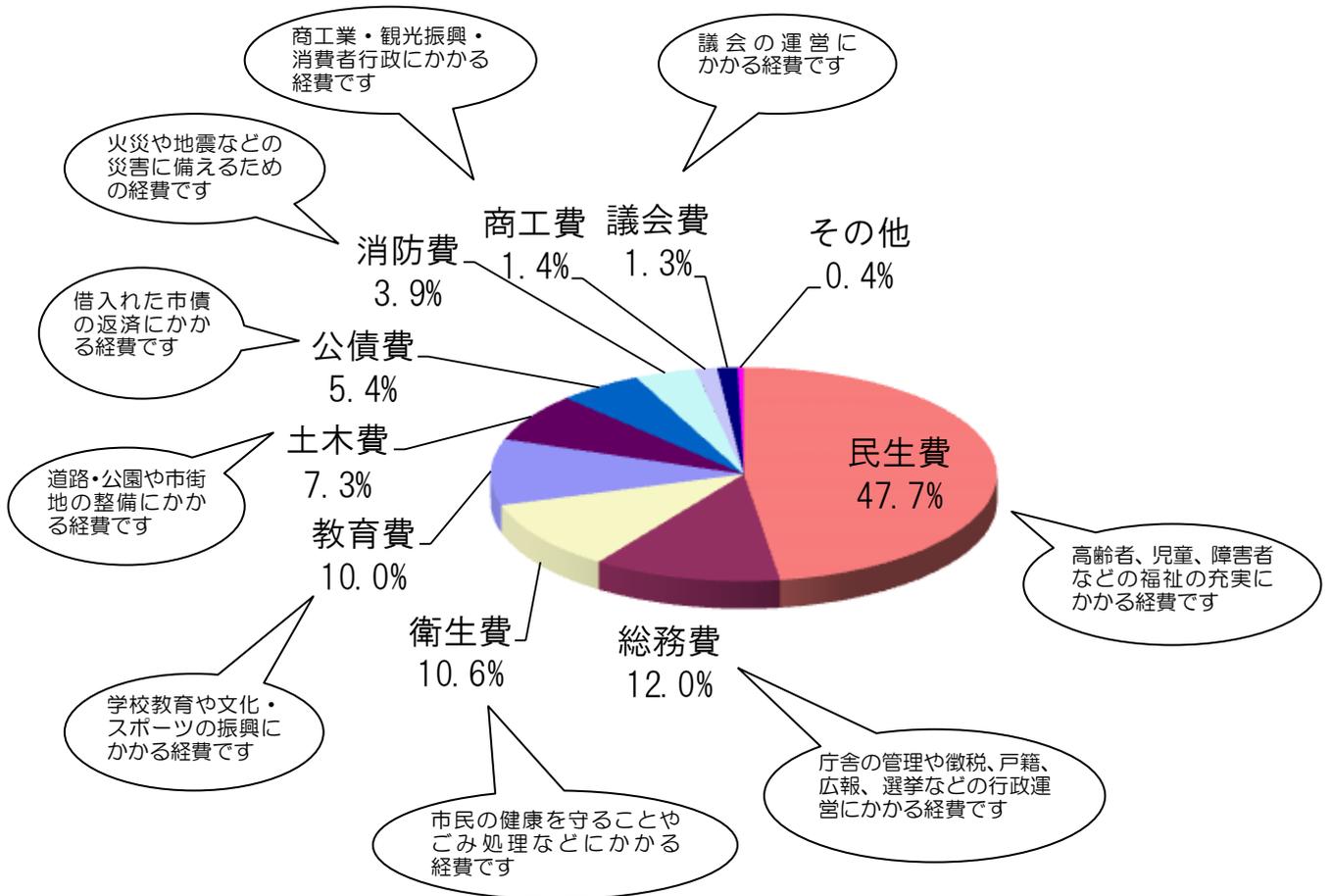
： ふ〜ん… そうすると、今まで以上に、市はまちづくりについて、自分で決めていくことが増えてることなのか。

自分たちの納めた税金がどう使われているのか知らないといけないんだね。

市の支出

市の支出の内訳は、次の表・グラフのとおりです。

区分	予 算 額	構成比
民生費	99億5,166万円	47.7%
総務費	25億 87万円	12.0%
衛生費	22億 509万円	10.6%
教育費	20億7,797万円	10.0%
土木費	15億3,077万円	7.3%
公債費	11億3,819万円	5.4%
消防費	8億2,383万円	3.9%
商工費	2億9,498万円	1.4%
議会費	2億7,112万円	1.3%
その他	8,552万円	0.4%
合計	208億8,000万円	100.0%





市民一人あたりの支出の状況は・・・

一般会計における市民一人あたりの支出の状況は、次のとおりです。

議会費 4,770円  議会運営に	総務費 44,001円  庁舎の管理や徴税、戸籍、 広報、選挙など行政運営に	民生費 175,091円  高齢者、児童、 障害者などの福祉の充実に	衛生費 38,797円  市民の健康を守ることや ごみ処理などに
商工費 5,190円  商工業・観光の振興、 消費者行政に	土木費 26,933円  道路、公園や市街地の 整備に	消防費 14,494円  火災や地震などの 災害に備えて	教育費 36,560円  学校教育や 文化・スポーツの振興に
公債費 20,025円  借入れた市債の返済に	その他 1,505円 		

(平成 26 年 1 月 1 日現在の人口:5 万 6,837 人)



： そうか、僕たちの学校のことなどに関係する教育費は、市民一人あたりにすると 36,560 円かかっているんだね。



： そういえば、我が家でも「児童手当」をもらっているけど、生活保護費や障害者福祉費、高齢者福祉費などの民生費は、最も多い 175,091 円かかっているのね。



： ところで、公債費ってあるけど、これがお母さんが「ばかにならない」って言っていた市の借金のことでしょ。
そもそも何で市が借金なんかするんだろう？借金なんて無いほうがいいのに・・・



市債とは…

公共施設を建設したり、道路や下水道を直したりするには一度に多額のお金が必要になります。このお金の不足を補うために、市は「長期ローン」で国や東京都、銀行などから借金をします。

これを市債と言います。市債は無いほうが良いのでしょうか？

実は、市債にはお金の不足を補う役割のほかに、もう一つ目的があります。

それは、公共施設など将来に渡って利用するものについて、現世代の市民だけに負担してもらうのではなく、将来、便益を受けることとなる後世代の市民にも公平に負担してもらおうという「世代間負担の公平」の目的です。

そのため、市では将来の負担が重くなり過ぎないように注意しながら、必要な借金を計画的に借入れるように努めています。

－ 26 年度の市債 －

- ☆ 庁舎耐震改修等事業債 1 億 2,000 万円
- ☆ 小中学校体育館非構造部材耐震改修事業債 1,800 万円
- ☆ 臨時財政対策債 6 億円 (参考 25 年度 7 億 2,000 万円)

臨時財政対策債とは、地方一般財源の不足に対処するため、投資的経費以外の経費にも充てられる地方財政法第 5 条の特例として発行される地方債で、地方交付税制度を通じて発行可能額が算定されます。



： 我が家にも住宅ローンや車のローンがあるけど、お父さんのお給料で返せるように計算して借りているし。バランスが大事よね。

ところで、市の借金ってどれくらいあるのかしら…



－ 一般会計市債残高見込み －

区 分	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
市 債 借 入 額	8億3,200万円	6億3,500万円	9億2,500万円	7億3,800万円
市 債 返 済 額	11億6,212万円	11億3,283万円	10億9,146万円	11億3,577万円
元 金	9億8,121万円	9億6,553万円	9億4,057万円	9億8,316万円
利 子	1億8,091万円	1億6,730万円	1億5,089万円	1億5,261万円
市 債 残 高	107億3,627万円	104億 574万円	103億9,017万円	101億4,501万円

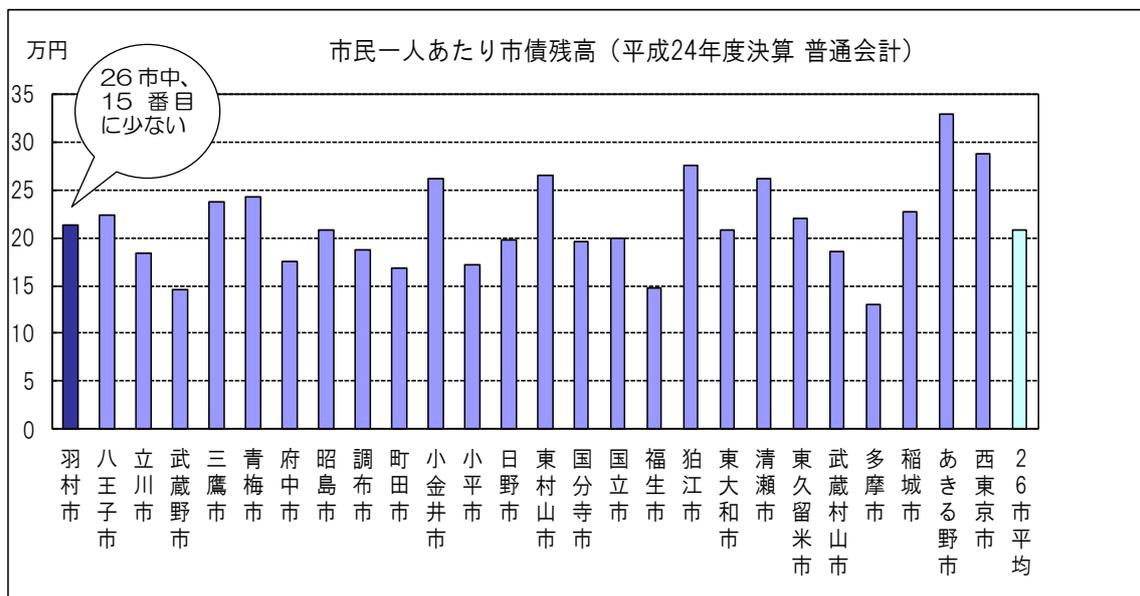
※平成24年度までは決算額、25年度は決算見込額、26年度は当初予算額です。

※表示単位未満を四捨五入にしているため、端数が一致しない場合があります。

平成 26 年度末の借金の残高見込みは 101 億 4,501 万円で、市民一人あたりの借金の残高見込みは 17 万 8,493 円です。

平成 24 年度決算における東京都 26 市の市民一人あたりの市債残高比較では、羽村市は 26 市中 15 番目 (213,803 円/人) に少ない市となっています。

(市民一人あたり市債残高 26 市平均 208,707 円/人)



普通会計とは、一般会計と公営事業会計以外の特別会計を一つにまとめた会計（羽村市では一般会計と羽村駅西口土地区画整理事業会計）で、他の自治体と財政状況の比較ができます。（P12 の市民一人あたりの基金残高も同じ）



： 羽村市は、26 市平均くらいの借金があるんだ。
ところで、借金があるってことは、貯金もあつたりするのかなあ。
お母さんのヘソクリみたいに…



基金とは…

基金とは、一般家庭の「貯金」にあたります。将来の財政需要に備えて積み立てておいて、お金が不足する年に使ったり、施設の大規模な改修など特定の目的に使うために活用しています。基金は市の条例などに基づいて積み立て、運用を行っています。

一般会計基金残高見込み

区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
基金残高	45億2,097万円	48億9,055万円	50億2,090万円	41億2,880万円
財政調整基金	20億1,921万円	22億8,368万円	24億9,497万円	17億5,917万円
減債基金	215万円	215万円	215万円	215万円
特定目的基金	24億9,961万円	26億472万円	25億2,378万円	23億6,748万円

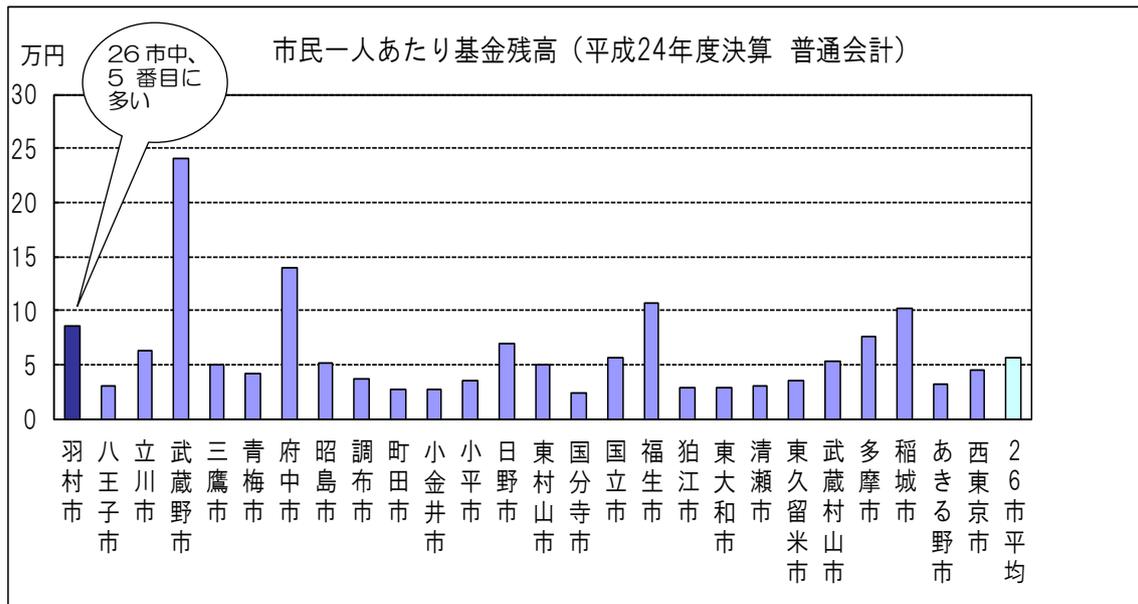
※平成24年度までは決算額、25年度は最終補正見込額、26年度は決算見込額です。
 ※財政調整基金＝年度間の財源不足などを調整するための基金です。
 ※減債基金＝市債の返済を計画的に行うための資金を積み立てる基金です。
 ※特定目的基金＝特定の使用目的のために資金を積み立てる基金です。例)教育振興基金



平成 26 年度末の貯金額の見込みは 41 億 2,880 万円です。市民一人あたりの貯金額（見込み）は 7 万 2,643 円です。

平成 24 年度決算における東京都 26 市の市民一人あたりの貯金額の比較では、羽村市は 26 市中 5 番目に多い市(85,599 円/人)となっています。

(市民一人あたり基金残高 26 市平均 56,458 円/人)



： 26 市のなかで、貯金が多い方なのね！
なんか安心したわ。



： どの市も貯金や借金があるんだね。
でも、どの自治体も財政は厳しいって、よく言ってるようだけど…
僕の住んでいる羽村市はどうなんだろう？



平成 26 年度一般会計予算を一世帯あたりの家計簿で見ると・・・

平成 26 年度一般会計予算を、太郎くんの家の毎月の家計費 20 万円に置き換えて考えると、一世帯あたりの収入・支出の内訳は、次のとおりとなります。

収入		支出	
給料 (市税)	98,400 円	子どもへの援助 (補助費等・繰出金)	56,100 円
親からの仕送り (国・都支出金、地方譲与税など)	63,000 円	医療費 (扶助費)	56,100 円
ものを売ったお金、貯金の利子や配当 (その他)	14,600 円	食費・家賃 (人件費)	32,600 円
貯金の取り崩し (基金繰入金)	9,800 円	光熱水費・電話代 (物件費)	31,800 円
銀行からの借入れ (市債)	7,100 円	ローンの返済 (公債費)	10,900 円
パート収入 (使用料・手数料、分担金など)	6,100 円	家や庭の修理・整備、家電製品購入 (普通建設事業費)	9,100 円
前月から繰り越したお金 (繰越金)	1,000 円	その他 (積立金など)	3,400 円
合計	200,000 円	合計	200,000 円

()内は、市の予算に置き換えた費目(性質別を含む)を表します。

太郎くんの家では、給料が 9 万 8,400 円のため、月の家計費 20 万円には 10 万 1,600 円不足してしまいます。そのため、親からの仕送りや貯金の取り崩し、銀行からの借入れを行うなどして家計費を補っています。

借金や貯金の取り崩しを少なくするため、支出の面でも節約をしていますが、家族の医療費なども増加してしまい、厳しい家計状況が続いています。



： 20 万円の家計費のうち給料が半分以下かぁ。支出では、医療費（扶助費）が家計費全体の 4 分の 1 以上になっているんだ～。

家計のためには、少しずつ切り詰めていかないといけないんだね。



： そうよ、お母さんが家計をやりくりするのは大変なんだから！

市の財政状況



： 地方自治体の財政状況を知る一つの目安に「経常収支比率」っていうのがあるって聞いたことがあるけれど…

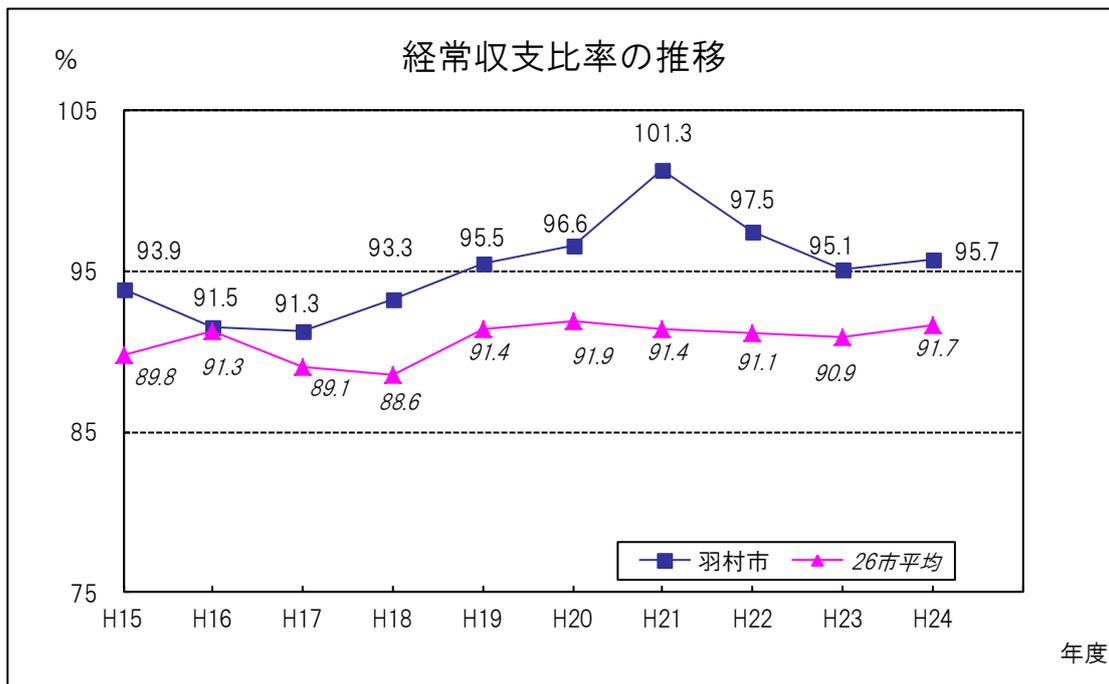


経常収支比率 (けいじょうしゅうしひりつ)

市が毎年の事業を行うにあたって、福祉や医療などの社会保障に係る経費や市の借金の返済、職員の給料など「決まって支払われる経費」に対して、税金や施設の使用料など「決まって入ってくる収入」がどの程度使われているかをみる指標です。

家計に例えるなら、毎月の生活費やローンの返済にお給料がどれ位使われているか…、といったイメージでしょうか。

この指標が高いということは「自由に使えるお金が少ないので、新しい事業にお金がまわせないという状態」でもあり、柔軟な財政の運営が難しい状態とも言われます。最新のデータ(平成24年度決算)では、羽村市の経常収支比率は95.7%となっています。(26市中20位)



： 平成21年度から年々良くなってきたようだけど、平成24年度にはまた少し増えているね。26市の平均を大きく超えているということは、他市に比べて自由に使えるお金が少ないってこと？ その他の目安になる指標は、あるのかなあ…

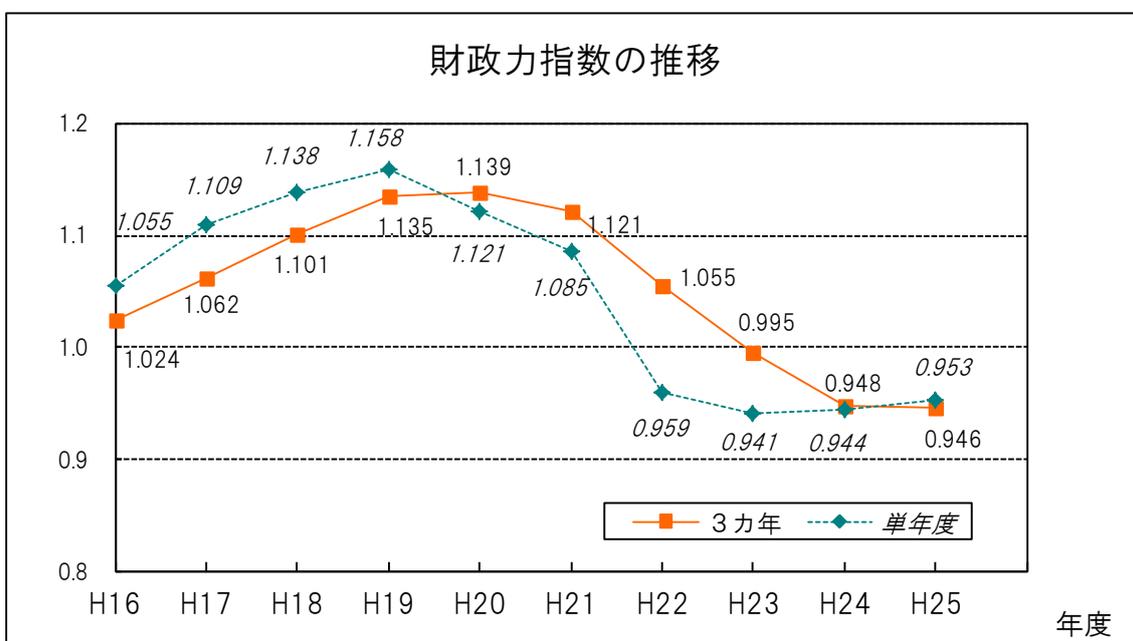


財政力指数（ざいせいりょくしすう）

財政力指数は、地方交付税の算定に伴って算出される数値で、この数値が高いほど財政力があるといわれ、単年度で1を超えると普通交付税が交付されない不交付団体となります。他団体と財政力を比較する場合には、その年度を含めた3か年の平均値を使用します。

最新のデータ(平成25年度)では、羽村市の財政力指数は0.946(3か年平均)、単年度では、0.953です。平成25年度も財政力指数が単年度で1を下回り、引続き普通交付税の交付団体となりました。全国の市町村1,719団体のうち、不交付団体は48団体のみであり、近年の経済不況が全国の自治体に大きな影響を及ぼしているものと考えられます。

普通交付税制度は、国が地方公共団体間の税源不均衡を調整し、全ての地方公共団体が一定水準の行政サービスを提供できるよう財源を保障するものであり、交付税が交付される団体になったからといって、市の財政が赤字になったということではありません。



： びっくりした！市の財政が赤字になったのかと思ったわ。
不況の影響で市の収入が減ってしまったから、国が保障してくれているということよね。でも保障なしでやっていける自治体が全国で48団体しかないというのは驚きよね。



： そうだね～。僕がお母さんからお小遣いをもらっているのと同じように、市も国からお小遣いをもらっているということかな～。

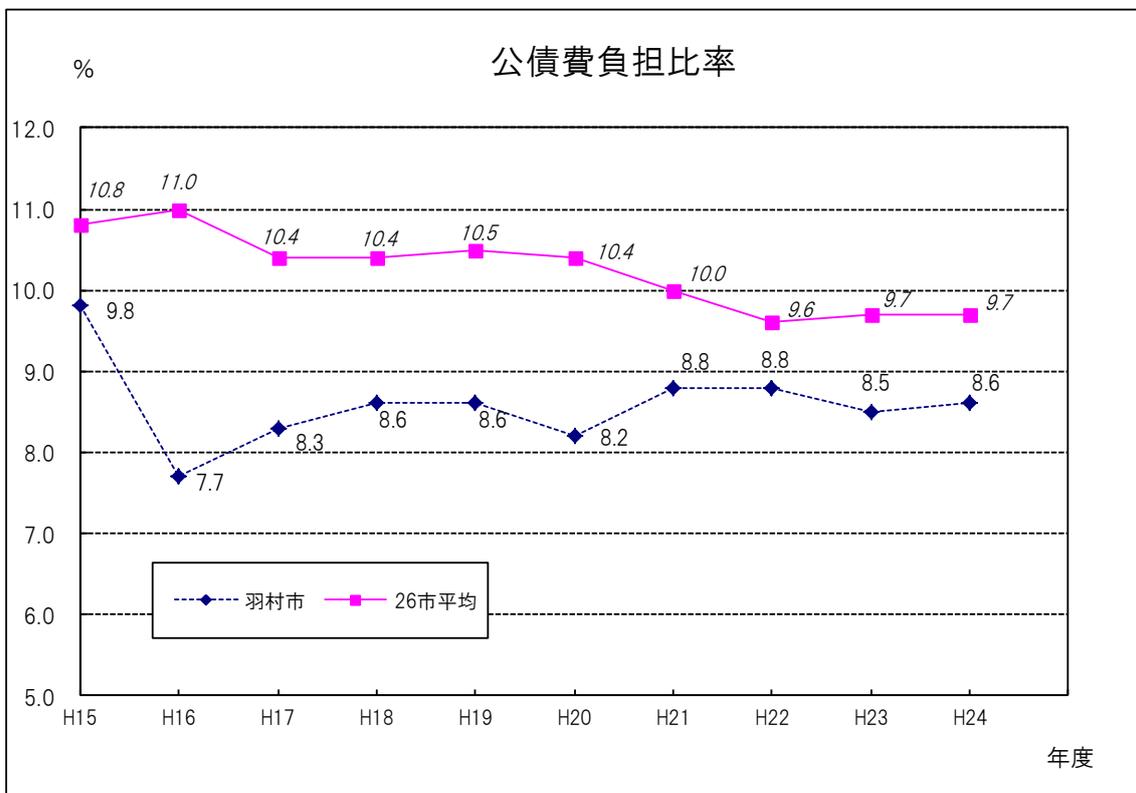


公債費負担比率（こうさいひふたんひりつ）・実質公債費比率（じっしつこうさいひりつ）

公債費負担比率は、市の借金の返済に充てた一般財源が、一般財源総額に占める割合を示す指標です。この比率が高いほど、使えるお金の自由度が制約されます。家計に例えるなら、月々の家計のやりくりの中にどれ位ローンの支払いが占めているか・・・、といったイメージでしょうか？

また、実質公債費比率は、下水道事業や市が関係する組合（福生病院や西多摩衛生組合 etc）などの借金を含めて、市がどの位負担しているかを判断する指標です。この数値が 18%を超えると市が借金をするのに国や東京都の許可が必要となります。

最新のデータ(平成 24 年度決算)では、羽村市の公債費負担比率は 8.6% (26 市平均 9.7%)、実質公債費比率は 4.0% (26 市平均 2.1%) となっています。



： 市の財政状況を計る物差は、いろいろあるのね。
公債費負担比率は 26 市の平均より低いってことね。
これからも、堅実な財政運営をして欲しいわ。
よし！今日から我が家も家計の見直しをするわよ！
太郎とお父さんのお小遣い、来月からカットね！



： えー、そりゃないよ！ とほほほ・・・

Memo



A series of horizontal dotted lines for writing, spanning the width of the page.



ここまで市の平成 26 年度の予算の大まかな状況を太郎くんとお母さんと一緒に見てきましたが、ここでの内容は市の予算や財政状況を知る上でのほんの最初の一步といったものとなっています。

市では、この他に各年度の具体的な事業をとりまとめた「予算説明書」や「予算書」、財政状況をまとめた「財政白書」などの冊子を、いつでも閲覧していただけるように図書館、市役所 1 階の市政情報コーナー、財政課窓口を用意しております。また、これらの冊子は市のホームページからもご覧になれます。

市では、今後も市民の皆さんに、市の予算や財政状況により一層興味をもっていただけるよう、「わかりやすい財政状況の公表」に努めてまいります。

羽村市公式サイト <http://www.city.hamura.tokyo.jp/>



平成 26 年度羽村市の予算 最初の一步！

平成 26 年 3 月発行

発行 羽村市

編集 羽村市財務部財政課

〒205-8601 東京都羽村市緑ヶ丘 5 丁目 2 番地 1

Tel 042-555-1111(代) 内線 317

Fax 042-554-2921

E-mail s102500@city.hamura.tokyo.jp

URL <http://www.city.hamura.tokyo.jp/>